

2022 年 10 月 7 日

BMW と Kith は、成功を収めたコラボレーションのシーズン 2 となる BMW i4 M50 by Kith を発表

電気自動車の BMW M ハイ・パフォーマンス・モデルに Kith 独自の装備を備えた限定モデル

歴史的な 1972 年型 BMW 1602 をロニー・ファイグが電動化し、デザイン・ディテールで装飾

ライフスタイル・コレクションをローンチし、全世界の Kith ストアとオンラインで販売

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長: クリスチャン・ヴィードマン）は、ニューヨークのデザイナーであるロニー・ファイグが率いるブランド「Kith」とのコラボレーション・モデル「BMW i4 M50 by Kith（アイフォー・エムゴーマル・バイ・キス）」の注文の受付を、BMW オンライン・ストア

（<https://online-store.bmw.co.jp/>）限定で、本年 10 月 10 日午後 11:59 まで実施する。日本国内において 1 台限定での導入となり、限定台数より注文数が上回った場合には、厳正な抽選により、本年 11 月上旬（予定）までに、当選者を決定し通知する。納車開始は、2023 年上半期を予定している。メーカー希望小売価格（消費税込み、予定）は、15,930,000 円である。

単なる電気自動車にとどまらない存在である BMW i4 M50 by Kith は、電気自動車初の M モデルであるだけでなく、ニューヨークのデザイナーであるロニー・ファイグが率いるブランド「Kith」と BMW M GmbH とのコラボレーションにより、内外装が特別にデザインされた BMW M モデルの第 2 弾でもある。この限定エディションを記念して、Kith は Kith バイタリティ・グリーンと BMW Individual キャラメル・メリノのカラーを使ったアパレルとアクセサリから成る 52 点のコレクションをローンチし、世界中の店舗とオンラインで販売する予定である。

電気自動車時代の BMW の変革を象徴するモデル

BMW M の 50 周年記念の年に、歴史的な車両が過去と電動化された現在との隔たりを橋渡しする。BMW の愛好家であるロニー・ファイグは、歴史へのオマージュとして、1972 年型 BMW 1602 を現代的な電気自動車に変身させるプロジェクトも手がけた。遡ること 50 年前の 1972 年のミュンヘン・オリンピックでは、電気自動車に改造された 2 台の BMW 1602 が、組織委員会の伴走車やカメラ車としてさまざまな長距離競技に使用された。これが、BMW における電動駆動モデルの先駆的かつ先進的な進化のスタートとなった。

ロニー・ファイグがデザインしたこの特別な 1972 年型 BMW 1602 Elektro は、BMW グループから彼に引き渡される予定である。彼はすでに BMW 車の素晴らしいコレクションを所有しており、その中にはコラボレーションのシーズン 1 から生まれた伝説的な BMW E30 M3 by Kith も含まれている。彼の BMW に対する情熱は少年時代に祖父から受け継いだものであり、BMW M とのコラボレーションは彼にとって原点回帰を意味する。ロニー・ファイグは 2011 年に自身のブランド Kith を設立した。BMW と Kith ブランドのコラボレーションは、2020 年にロニー・ファイグがデザインした BMW M4 Competition クーペから始まった。この 150 台の限定モデル BMW M4 Competition X Kith は、30 分足らずで完売した。

スポーティさと美しさを融合

第1弾の成功により実現したこの Kith とのブランド・コラボレーション第2弾では、エレクトロモビリティに焦点を当てている。BMW i4 M50 は、初の電気自動車の M モデルとして、「Brand Shaper」（ブランドを明確に定義づけるもの）と呼ぶにふさわしい車である。定評ある M モデルの DNA を受け継ぎ、電気自動車として BMW が進むべき責任ある方向性を示している。1972 年型 BMW 1602 は、50 年前に市場に登場した BMW 初の電動化モデルである。現在、電動化モデルは BMW のハイパフォーマンス・セグメントの一翼を担っている。ライフスタイルとストリートウェアのブランドである Kith のスポーティさは、BMW M モデルと完璧にマッチしている。ロニー・ファイグのデザインは、両モデルに新しい美学を与えるものである。

BMW が Kith バイタリティ・グリーンを採用

BMW は今回、社の歴史上初めて、ブランド・パートナーの名前にちなんで新色を命名した。Kith バイタリティ・グリーンはこの特別なコラボレーションの限定カラーで、通常の量産モデルには提供されない、深みのあるダーク・グリーンである。互いに融合した新しいロゴは、Kith と世界的に有名な企業とのさまざまなパートナーシップの特徴である。BMW は2年前、初めてコラボレーション相手に合わせてブランド・エンブレムを変更した。そして今回、広く知られている BMW のエンブレムが再び変更された。BMW i4 M50 by Kith のボンネットを飾るブランド・ロゴの周囲に、Kith バイタリティ・グリーンのリングが追加されたのである。このグリーンのリングには、パートナーシップ名、モデル、年度、そして電気自動車であることが記されている。ロニー・ファイグが手がけた 1972 年型 BMW 1602 のボンネットのロゴは、BMW の文字が Kith に変更されており、また違った印象になっている。白と黒で描かれ「Elektro-Auto」の文字が添えられた同様なロゴが、BMW i4 M50 by Kith のカップホルダーのリッドにも刻印されている。

インテリアはキャラメル・カラー

コラボレーションのすべての車両は、Kith バイタリティ・グリーンで塗装される。この絶妙なグリーン・カラーの外装に対して、フル・メリノ・レザーの内装にはキャラメル・カラーが組み合わせられる。ロニー・ファイグが手がけた 1972 年型 BMW 1602 Elektro では、シートのレザーに Kith の文字がエンボス加工され、運転席と助手席のフットウエルのレザー・インサートにも Kith の文字があしらわれている。また、ホイールのセンターホールには、BMW ではなく Kith の文字に変更されたロゴが飾られている。

BMW i4 M50 by Kith のインテリアも、特にキャラメル・カラーの調和がとれたコーディネートになっている。ニー・ボルスター、ステアリング・コラム、シート、サイド・パネル、A ポストおよび B ポスト下部は、すべてメリノ・レザーで仕上げられている。また、前後のフロア・マットはキャラメル・カラーのレザーで縁取られ、Kith に変更された M ロゴと M ストライプの刺繍が施されている。ヘッドレストとフロント・センター・アームレストには、ボックス・デザインの Kith の文字がエンボス加工されている。また、「KITH Exclusive Edition」の文字がトリムにレーザーで刻印されている。

テクノロジーとラグジュアリーが際立つ限定モデル

テクノロジーは、BMW M モデルと BMW i モデル、それぞれの革新的なパワーを初めて融合させた BMW i4 M50 から引き継いでいる。BMW M eDrive モーター2 基による完全電動パワートレインを搭載した BMW i4 M50 は、スポーツ・ブースト・モードで 400kW (544ps) を達成し、新登場の BMW M モデルにふさわし

いダイナミズムを発揮し、0-100km/h 加速 3.9 秒を実現している。ゼロ・エミッションで走行し、WLTC モードでの一充電走行距離は 546km に達する。BMW M 初の電気自動車のグラン クーペであるこの特別なクルマは独自のクラスを作り上げ、その航続距離の長さ、贅沢な広さ、インテリジェントなネットワークによって、日常使用にも適した車となっている。

BMW i4 M50 の標準装備と Kith コラボレーションのデザイン・ディテールに加え、このモデルはいくつかの特別な追加装備を標準装備している。M スポーツ・ブレーキ（レッド・ハイグロス）、M シャドー・ライン・エクステリア・エクステンド・コンテンツ、電動ガラス・サンルーフ、ファイン・オーク・ウッド・トリム、M ライト・シャドー・ラインなど、ラグジュアリーなドライビング体験をサポートする装備が用意されている。さらに、Harman/Kardon サラウンド・サウンド・オーディオ・システムが、BMW i4 M50 by Kith がもたらす駆けぬける歓びに完璧なサウンド・トラックを添えている。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>